

海外公務の研修プログラムの具体例

①フランスENAの例（「主幹カリキュラム」）

1. 共通コア研修（24 か月）

（1）ヨーロッパ課程

- EUの諸機関、国際機関、大使館等での実習を中心とする課程。
- 本課程は、「EU・国際機関実習準備（3週）→EU機関等での実習（17週）→実習後研修（7週）→試験（1週）」の全28週で構成。
- 本課程の成績割合は全体の25%。

（2）地方政府課程

- 県庁や地方公共団体での実習を中心とする課程。
- 本課程は、「地方政府実習準備（3週）→県庁等での実習（22週）→実習後研修（7週）→試験（1週）」の全33週で構成。
- 本課程の成績割合は全体の28%。

（3）公共管理・マネジメント課程

- 企業、中央省庁での実習を中心とする課程。
- 本課程は、「企業実習準備（1週）→企業等での実習（10週）→中央省庁実習準備（1週）→中央省庁での実習（4週）→実習後研修（7週）→試験（1週）」の全24週で構成。
- 本課程の成績割合は全体の26%。

2. 選択研修（3 か月）

- 学生5～6人のグループによる研究。研究テーマは次の5つの中から学生の希望等を踏まえて決定。
 - ①法律問題、②社会問題、③経済政策決定、予算・金融問題、④地方政府における課題、⑤環境・国際協力
- 本研修の成績割合は全体の10%。

3. その他

（1）語学

- 語学は、ヨーロッパ課程中に実施する「英語集中研修」のほか、「選択語学研修」及び「応用言語研修」がある。

- 選択語学研修における語学は、第1外国語として英語、ドイツ語、スペイン語の中から1つ選択、第2外国語として英語、ドイツ語、スペイン語、イタリア語、ロシア語、ポルトガル語、アラビア語、中国語の中から1つ選択。
- 「応用言語研修」は、他者への外国語教授手法を学ぶことが実践的な語学習得につながるという観点から設定されているプログラムで、外国語の教授方法（外国語でのインタビュー手法や実地調査手法なども含む。）を習得するもの。
- 語学の成績は全体の10%。

(2) スポーツ

- 将来、幹部公務員として職務を遂行していく上では、仕事上の責任遂行と良好な健康状態とのバランスが必要。また、スポーツは学生間の交流の促進に効果的。
- このような趣旨から、学生は、陸上、ボート、モダンジャズダンス、フェンシング、サッカー、ゴルフ、筋肉トレーニング、水泳、ラグビー、テニスなどの種目の中から選択。
- スポーツの成績割合は全体の1%。

以 上